

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有成分	文獻	症例	適正使用 特記事項	感染症(PID)	出典	概要
839	2008/01/10	70839	ポーラファ ルマ	トロンピン	トロンボプラ スチン	ブタ肺	デンマーク	製造工程	無	無	無			
840	2008/01/10	70840	ポーラファ ルマ	トロンピン	トロンピン	ウシ血液	ニュージー ランド、オー ストラリア、 アルゼンチ ン	有効成分	無	無	無			
841	2008/01/11	70841	富士フイル ムRFIファーマ	テクネチウム大凝集人血清アルブミン (99mTc)	テクネチウ ム大凝集人 血清アルブ ミン(99mTc)	ヒト血液	米国	有効成分	有	無	無	鳥インフルエンザ	Emerg Infect Dis 2007; 13: 1348- 1353	2006年5月にインドネシアのスマトラ北部でおよび2005年12月にトルコ東部の家族で観察されたトリインフルエンザH5N1の集団が、ヒト-ヒト伝播によるかを統計的方法を用いて調べた。スマトラの例ではヒト-ヒト伝播の統計学的エビデンスが得られ、概算された2次感染率は29%、局所的増殖数の下限値は1.14であった。トルコの例ではヒト-ヒト伝播のエビデンスは得られなかった。
842	2008/01/15	70842	味の素	ヘパリンナトリウム注射液	ヘパリンナ トリウム	健康なブタの 腸粘膜	ブラジル	有効成分	無	無	無	鳥インフルエンザ	Lancet 2007; 370: 1137-1145	H5N1インフルエンザウイルスに感染した男性1名および妊婦1名とその胎児の剖検組織を調べた。肺のⅡ型上皮細胞、気管の上皮細胞、リンパ節のT細胞、脳の神経細胞及び胎盤のボフバウエル細胞と細胞芽養層でウイルス遺伝子配列と抗原が検出され、腸粘膜ではウイルス遺伝子配列のみが検出された。胎児では肺、末梢単核細胞、肝マクロファージに遺伝子配列と抗原が検出された。本ウイルスは肺だけでなく気管に感染し、脳を含む他の器官に拡がり、また胎盤を通過し、母親から胎児にも伝播している。
843	2008/01/16	70843	田辺三菱 製薬	アプロチニン製剤	アプロチニン 液	ウシ肺	ウルグアイ、ニュージー ランド	有効成分	無	無	無			
844	2008/01/23	70844	ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロ ビン	人血液	非献血:米 国、献血:日 本	有効成分	有	無	無	異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	PLoS Pathogens 2007; 3: 659-667	経口的又は非経口的にスクレイピーを投与したハムスターの皮膚にPrPScが沈着するかを調べた。経口摂取したハムスターでは発症前にPrPScが検出され、発症時にはPrPScの蓄積がみられた。PrPScは皮膚の角化細胞ではなく神経線維に局在し、皮膚におけるPrPScの沈着は感染経路やリンパ組織感染に依存しなかった。神経が介在する遠心の皮膚へのプリオン拡大が示された。更に、スクレイピーに自然感染したヒツジを調べたところ、5頭中2頭の皮膚検体中にPrPScが検出された。